

## 令和4年度 第3回 鈴鹿市立千代崎中学校 学校運営協議会 実施報告書

1 日 時 令和4年9月12日(月) 14:00~15:10

2 場 所 千代崎中学校図書室

3 概 要 1学期の学校教育活動報告及び2学期以降の予定

### 4 委員の意見等

(委員長)

- ・夏季休業終了後は、登校を渋る生徒が多くなる傾向となること、及び新型コロナウイルス感染症の影響で学校に行きにくい状況となることため、学校には適切な支援をお願いしたい。先日も自傷行為等についての新聞報道があったが、こうした生徒に対しても特別な配慮をお願いしたい。

(学校長)

- ・夏季休業中は、新型コロナウイルス感染症罹患者が増加したことから、部活動停止等の感染対策を講じながら、教育活動を維持してきた。2学期も新型コロナウイルス感染症の影響があると考えられるが、文化祭等、保護者が来校できる機会を設定していく予定である。
- ・生徒間での些細なトラブルはあるものの、1学期は落ち着いた学校生活を送ることができた。また、中体連では、3年生が中心となって活躍し、結果を残してくれたことに感服している。今後は1・2年生が主体となって部活動や生徒会活動等で牽引してくれることを期待している。
- ・学校運営面においては、出産等に係る休暇取得者の代替の常勤教員が任用できなかったことから、特定の部活動で専門的な指導ができず苦慮している。

#### (1) 全国学力・学習状況調査の結果について

(学校長)

- ・国語及び数学の学力調査において、本校の強みは随所で見受けられたが、理科においては全国比▲2.3ポイントとなっており、喫緊の課題となっている。作図及び作図に関して説明する問いにおいては、全国比▲8.9となっている。3年生だけでなく、1・2年生が実施した「みえスタディ・チェック」からも理科の課題が明白になっていることから、教科部会等で改善を図りたい。
- ・質問紙からは、ICT機器の活用頻度が本校の強みとして挙げられる。本校では情報教育担当者が中心となり、生徒の実情に応じた効果的なICTの活用方法を模索している。
- ・本校の弱みとして、家庭学習の時間が確保されていないことや理数教科の有用性を見出せないことが挙げられる。また、読書時間が少ないことから、保護者等に対してアンケートを実施し、現状を把握した上で対応策を検討していく。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響があり、地域行事等の参画に係る数値が低かったが、感染症収束後は、生徒が主体的に参画できるよう支援を賜りたい。

- ・鳴門教育大学のアンケート調査において、本校生徒の学校への満足度は高く、学校に行きたくないと回答した割合は市平均を下回っている。ただし、他の項目で学年ごとの課題が明らかになったことから、この結果を育成指標として活用するとともに、3年間を見通して確実に力を付けられるよう指導に当たりたい。

(委員)

- ・家庭内でのスマートフォンの活用時間制限のルール等の策定については、各御家庭が主体となって推進されたい。
- ・ICTの内容等、難易度の高いものについて指導することは困難である。
- ・小学校児童のSNS等の活用時間は削減されたとの報告があったことから、小学校の取組を参考にされたい。

(2) 中体連の結果について【結果の抜粋】

※団体の部 ( ) は出場大会

女子バスケットボール (東海), 吹奏楽 (県)

※個人の部 ( ) は出場大会

女子硬式テニス (東海), 男子柔道 (東海), 陸上 (東海), 女子新体操 (東海)

男子ソフトテニス (県), バドミントン (県)

(3) 夏季補充学習について【参加人数】

実施日	1年生	2年生	3年生	計
8月1日	9	23	45	77
8月17日	43	23	20	86

(4) 生徒の様子及び (5) 1・2学期の学校教育活動について概要説明

3 意見交換

(委員)

夏季休業中の水難事故に係る報道が多々あったが、現在の水泳指導はどうか。また、こうした事故に遭遇しないよう、着衣泳等の指導を行うべきではないか。

(学校長)

全市的に水泳指導は行っていない。プールの存続についても検討中である。

(委員)

校舎改築の進捗状況はどうなっているか。

(学校長)

前回と変化はなく、令和6年度以降に行われるとのことである。

(委員)

制服検討委員会では生徒の意見を反映させるのか。

(学校長)

本年度中に事業者を決定したい。制服のデザインや機能性等を決定する際には、生徒の意見を踏まえ検討していきたい。